

第2次大崎市バイオマス産業都市構想（中間案） 概要版

令和7年〇月

大崎市産業経済部産業商工課



背景

- ①災害に強いまちづくり
- ②2050年カーボンニュートラル
(ゼロカーボン)の実現
- ③世界農業遺産資源の活用
- ④持続可能な開発目標(SDGs)への
貢献

目指すべき将来像

- ①「産業の創出」や「地域経済の活性化」
- ②「大崎耕土」の保全・活用の実現
- ③「温室効果ガス排出削減」や「循環型社会の形成」

達成すべき目標(令和16年度まで)

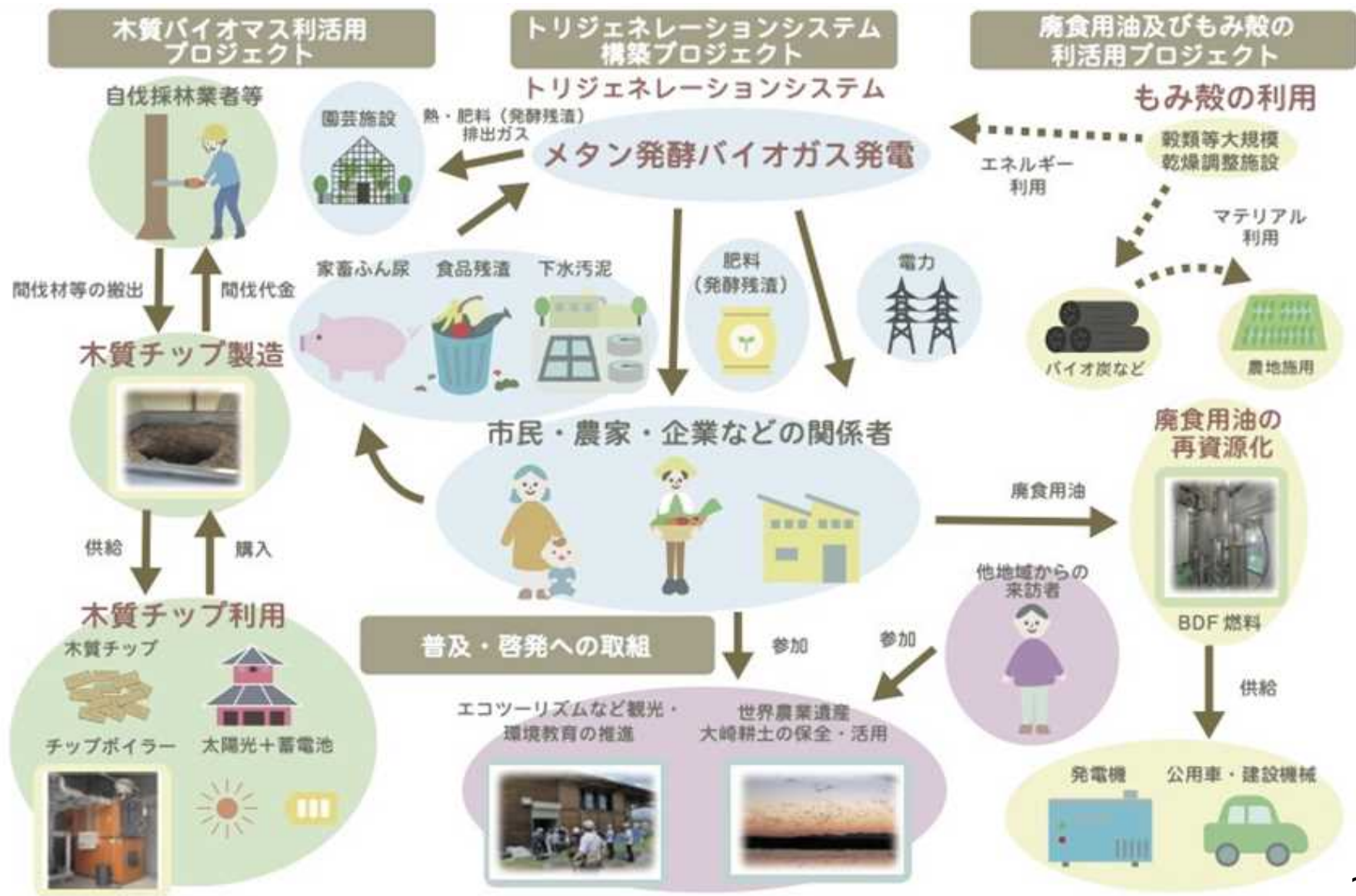
- (1)地域経済の循環に貢献するバイオマス資源活用
- (2)地域内エネルギーの生産・備蓄・利用による災害に強いまちづくり
- (3)生態系を維持できる範囲での利用による持続可能な循環型社会形成への寄与
- (4)世界農業遺産の保全・活用
- (5)未来を担う人材の教育・育成
- (6)既存観光資源等との相乗効果の創出・情報の配信

《 事業化プロジェクト 》

第2次大崎市バイオマス産業都市構想



プロジェクト名	概要	効果
①【継続】木質バイオマス利活用プロジェクト	・木質チップの生産体制の構築 ・木質チップのエネルギー利用と非常時のエネルギー確保 ・複合型エネルギー供給による稼働システム整備導入	・未利用資源の活用 ・エネルギーの地産地消 ・森林の保全 ・温室効果ガス排出量の削減
②【継続】廃食用油及びもみ殻の利活用プロジェクト	・廃食用油の市民回収及び再資源化によるバイオディーゼル燃料(BDF)の製造と利用 ・もみ殻のエネルギー・マテリアル利用の検討	・エネルギー調達の多角化 ・非常時のエネルギー確保 ・エネルギーの地産地消 ・廃棄物系バイオマスの再利用による廃棄物の削減 ・温室効果ガス排出量の削減
③【新規】トリジェネレーションシステム構築プロジェクト	・下水汚泥, 食品廃棄物, 農業残渣, 畜産ふん尿等を原料として, メタン発酵(嫌気性処理)バイオガス発電を行う ・バイオガス発電から発生する排熱は, 隣接して建設される園芸施設へ熱源として供給する ・バイオガス発電から排出するCO2は, 光合成促進用に園芸施設への供給を検討する ・固体副生成物及び液体副生成物(メタン発酵消化液)は肥料として園芸施設, 農地等での利活用に取り組む	・廃棄物系バイオマスの再利用による廃棄物の削減 ・畜産ふん尿の臭気低減 ・温室効果ガス排出量の削減 ・新たな雇用の創出
④【継続】普及・啓発への取り組み	バイオマス資源活用の普及・啓発を促す	・市外からの観光客の誘致 ・既存の資源と連携させた新たな観光事業の展開 ・新たな雇用の創出 ・関連産業の活性化 ・企業のCSR活動・SDGsの推進





地域へ資源を還元

地域内バイオマスの利用
 ⇒海外から輸入または海外
 へ流出していた資源の一部
 を国内や地域に還元できる

経済の好循環

地域を潤す経済の好循環を
 生み出す



構想期間内(～令和16年度)に期待される経済波及効果

	生産増加額 (百万円)	雇用者所得増加額 (百万円)	新規雇用者数 (人)
直接効果	2,649	711	185
第1次波及効果	698	184	44
第2次波及効果	402	91	27
合計(10年間)	3,749	986	256

<経済波及効果の内容>

- ①トリジェネレーションシステム
構築プロジェクトでの売電・熱の
販売・廃棄物受入れ収入による
経済波及効果
- ②バイオマスツアーの開催によ
る経済波及効果

※「宮城県経済関連表 経済波及効果分析ツール」を使用して算定

※ 直接効果:最終需要(消費や投資等)の増加により、需要が増えた産業の生産への直接的な影響

※ 第1次波及効果:直接効果の影響を受けた産業が新たに生産するために、その原材料を供給する関連産業への影響

※ 第2次波及効果:直接効果と第1次波及効果により雇用者所得が増加し、その雇用者の消費増加分についての経済効果

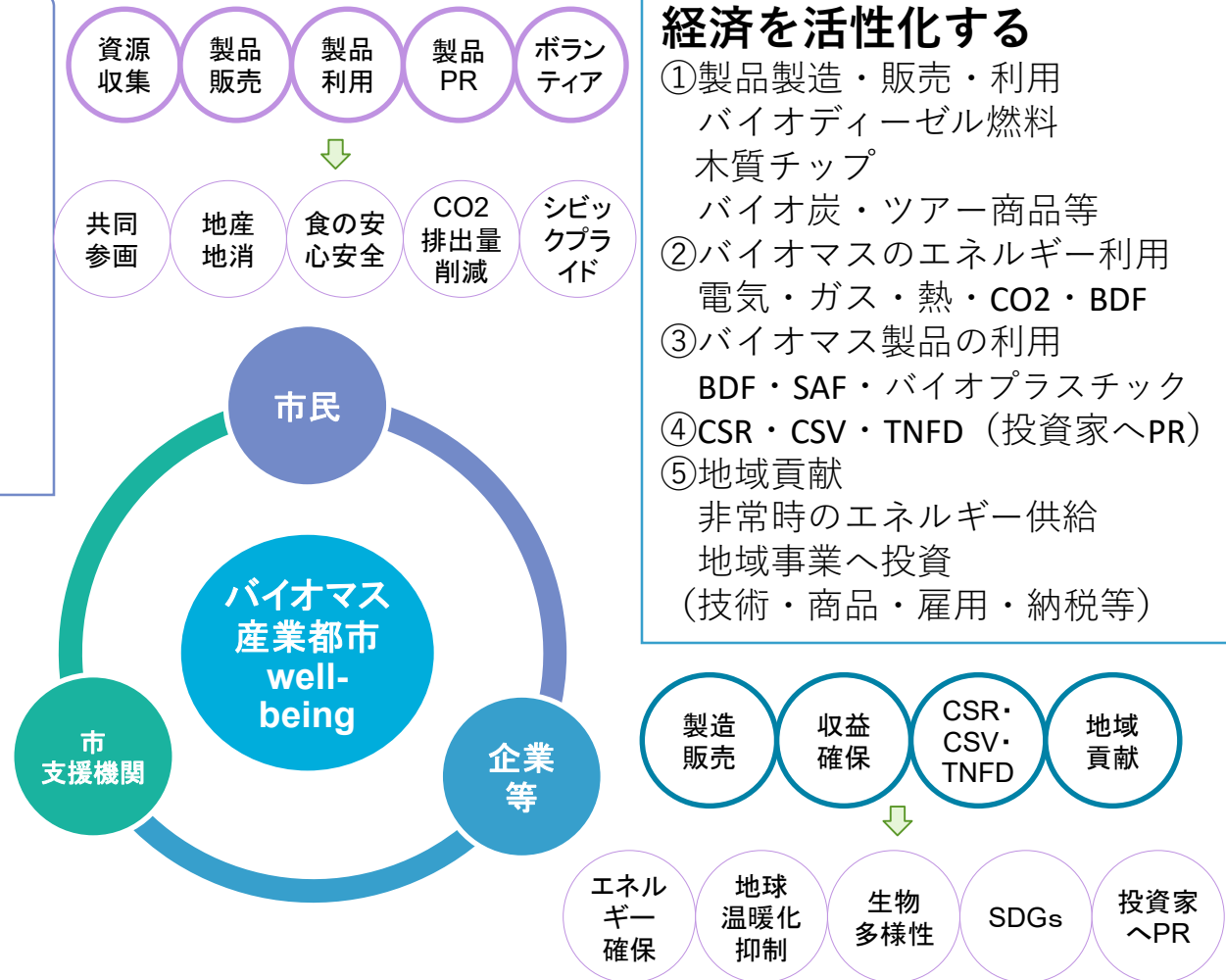


行動する

- ① バイオマス製品消費
堆肥・無農薬野菜
バイオマスプラスチック
- ② 廃棄物系資源の収集・提供
廃食用油・食品残渣・家畜ふん尿等
- ③ 環境教育への参画
ツアー・セミナー参加
ボランティア活動

支援する

- ① 補助金整備
バイオマス産業都市構想
企業立地奨励金
各種補助金申請支援
- ② 学びの環境整備
セミナー・出前講座
バイオマスツアー
J-クレジット 等
- ③ 廃棄物バイオマス提供
下水汚泥・食品残渣 等
- ④ 啓発・連携事業



経済を活性化する

- ① 製品製造・販売・利用
バイオディーゼル燃料
木質チップ
バイオ炭・ツアー商品等
- ② バイオマスのエネルギー利用
電気・ガス・熱・CO2・BDF
- ③ バイオマス製品の利用
BDF・SAF・バイオプラスチック
- ④ CSR・CSV・TNFD（投資家へPR）
- ⑤ 地域貢献
非常時のエネルギー供給
地域事業へ投資
（技術・商品・雇用・納税等）

バイオマス製品（生物由来の資源）の積極利用とPR等により
世界農業遺産の保全活用・産業の創出・地域経済の活性化を図り
市民や企業のwell-beingの向上を目指します